

大阪信用金庫のサステナビリティ宣言

大阪信用金庫のサステナビリティとは、地域金融機関として、地域のみなさまが安定した繁栄を継続して享受できる社会になるように、大阪信用金庫職員が「自主創造」の精神で取り組み続けることです。

「自主創造」 とは

- 将来の大阪信用金庫のあるべき姿を想像し、今あるべきことを自ら考え、行動すること
- 日常のあらゆる業務において問題意識を持ち、創意工夫を取り入れること
- 地域の課題を把握し、地域の発展に貢献するため独自の施策を考え行動すること
- 常に問題意識を持ち、問題の解決のために率先して行動すること

営業店の「自主創造」に向けた主体的な取り組み

尼崎支店

地域課題の解決

▶ 地元の高齢者の方と大学生や地域住民との交流の場の提供

▶ コロナ禍で苦しむ地元飲食店の売上と知名度アップに貢献

尼崎支店ではコロナ禍で苦しむ地元飲食店とコラボし、特別養護老人ホーム「ロータスガーデン」において高齢者の方に屋台とキッチンカーで楽しい食事を届けるイベント『だいしん尼崎グルメフェス2022』を開催し、支店からは「スーパーボールすくい」で出店しました。300名を超える来場者にキッチンカーでキーマカレーやホットドッグ、屋台でからあげやフリフリポテト・チラシ寿司などが販売され、さまざまな美味しい料理が楽しめる食の祭典となりました。



和泉支店

地域課題の解決

▶ 障がい者の方の作品を商品化し、社会進出をサポート

▶ 公的機関とのコラボ展示会で第二創業事業を応援

和泉市社会福祉協議会「絵画教室」と第二創業支援先「三幸紙創(紙袋製造)」とのコラボ展示会を和泉支店がコーディネートして開催しました。当社の商品「さちぶくろ」は、自分が描いた絵を紙袋のデザインとして製造するものです。

今回の取り組みは、第二創業事業の応援と障がいのある方の生きがいや、やりがいに繋がればとの想いから開催しました。今後、少しでも生徒の生活支援に繋がればと生徒の絵の紙袋を「三幸紙創」のサイトに乗せて販売し、売上金の一部を報酬として作者に還元することも検討中です。



はなてん支店

地域課題の解決

▶ 職場体験で地元企業と交流を深め、人材雇用支援を推進

▶ 地元高校に地元企業の魅力を伝え、生徒の就労を支援

はなてん支店では「人材雇用支援」の課題を掲げ、地元の高校と企業との連携による職場体験の人材マッチングを推進しています。マッチングの推進のためには、「まずは職員による職場体験が必要」と考え、お取引先(婦人靴製造)にご協力いただき当金庫職員による職場体験を実施しました。職員自身が靴の検品や撮影、パンフレットの制作等を体験、お取引先従業員とも会話できたことで会社の雰囲気を感じることができ、大変貴重な経験となりました。お取引先からも「こんな金融機関は他にない、会社のことを本気で知ろうとしてくれてとても嬉しい」とお言葉をいただきました。現在、当金庫職員による職場体験は定期的に実施しており、最終的には高校生との職場体験を実現させ、高校生とお取引先に喜んでもらえる職場体験の実施を目指します。



店 名	取り組み内容
営 業 部	地元企業のコラボによるSDGsに貢献する商品の開発と展示会による広報支援。
九 条	高齢化の進む鉄工所のアトツギを支援する若手経営者の会を創設。
花 園	放課後に年齢の違う子供たちとのふれあい交流を実施。
今 里	外国人の事業者を対象とした交流会を開催し、参加者間での情報交換を通じて経営課題の解決を図る。
都 島	コミュニティの繋がりを図り、困窮家庭の支援を通じ子供の可能性を生かす取り組みとして月1回のフードドライブを実施。
田 辺	社会福祉協議会と共催で老若男女問わず参加可能な「ポッチャ」の体験会開催と各相談ブースを出展。
難 波	商店街の活性化の為、2か月に一度周辺の飲食店を紹介する地域号を発行ポスターとして掲示。
西 淀	高齢化に対する地域貢献のため社会福祉協議会職員によるセミナーを支店で実施。
玉 造	社会福祉協議会と連携したフードドライブ。大阪商工会議所を通し、商店街と大阪万博提携。
大 正	高齢化社会での地域連携を目的に成年後見人制度、キャッシュレス、沖縄三味線などのセミナーを開催。
平 野	平野支店で栽培したじゃがいもをこども食堂に寄付。取引先から提供されたお菓子を社会福祉協議会に寄付。
東 大 阪	少子高齢化に対応する為、取引先の介護施設経営者開催のセミナーに協力機関として参加。
日 本 橋	道仁自治連合会開催のパソコン教室などの後にAEDや詐欺被害防止の講習会を実施。
杉 本 町	社会福祉協議会が実施するフードドライブ・こども食堂の取り組みに協力。
東 湊	高齢者の健康不安と地元魅力のPR不足を解決する為に、観光スポットのボランティアガイドとして参加。
天 美	地元小学校のベルマーク運動の協力のため、顧客や職員からベルマークを回収し提供。
守 口 東	フードドライブでくらしサポートセンターへ食料等を寄付。下校時の子供見守り活動。
八 尾	地域の通貨「ややお」を活用した地元企業の製品・サービスの情報発信やBtoBの促進。
四 条 畠	行政と連携してフードドライブによる貧困家庭の支援、こども食堂への食材支援を実施。
加 美	平野区社会福祉協議会が運営している「おもちゃ図書館」へ本やおもちゃを寄付。
七 道	お取引先企業の工場内を撮影、子ども向けに編集し、SNSにてバーチャル工場見学動画として配信。
城 東	人材問題に対し、地元企業及び地元高校と連携、職場体験を実施し、正規雇用につなげる。
港	子育て世帯向けに店頭で回収した子育てグッズを無料で提供する0円マーケットを開催。
勝 山	貧困家庭とフードロス問題の解決の為、食材や筆記用具、絵本、おもむつ等を集め寄付。
森 小 路	地元の「京かい道商店街」のイベント「一日市」の案内。お店や商品のPRコーナーの設置。商店街への誘致。
上 福 島	区役所と連携した福島区の防災セミナーの開催と同時に当庫防災士によるAEDの講習会を実施。
新 大 阪	社会福祉協議会と連携して、「淀川区ボランティア市民活動センター写真コンテスト」の受賞作品の展示会開催。
鶴 見	高齢者向けの「暮らしの相談会」を社会福祉協議会と連携して開催。
南 森 町	取引先の飲食店を応援する為、テイクアウトのチラシなどを展示し、店舗や商品の魅力を発信。
住 之 江	社会福祉協議会から地域のボランティア団体の紹介を受け、子供服の古着集めに協賛し、店頭で回収BOX設置。
茨 木	茨木市役所福祉部福祉総合相談課と連携しフードドライブを実施。
永 和	地元のサッカークラブと協力し、イベント誘致やスポーツ振興活動を通して東大阪市を盛り上げる。
吹 田	善意銀行を通じての地域支援。募金箱を設置し、善意銀行への寄付を募る。
西	社会福祉協議会と連携し年金受給日に高齢者への相談窓口を設置。AED講習の実施。
天 六	支店独自の新聞(天六NOW)で地元業者を紹介し事業活性化を図る。フード&日用品ドライブへお取引先と連携して参加。
はなてん	地元企業の人材雇用支援のため当庫職員が取引先企業にて職場体験を行う。
豊 中	社会福祉協議会と連携し、フードドライブと介護・福祉サービスの相談会。
花博公園	クロスSWOT分析を通じて企業の成長戦略を共に考え、成長戦略に沿ったソリューションを展開。
尼 崎	飲食店支援の為、尼崎グルメフェスを地元で開催。
荒 本	社会福祉協議会と連携した物品寄付とフードドライブ。MOBIOと連携した「MOBIO-Cafe」の実施。
貝 塚	貝塚市の観光資源の認知度向上のため、支店を「信用金庫版観光案内所」にする。
泉 佐 野	泉佐野市独自のポイント制度「さのぼ」を通じて泉佐野市の消費喚起に協力する。
尾 崎	第22回阪南産業フェアに協力。地域包括支援センターと連携し、スマホセミナーとなんでも相談会を実施。
信 太	和泉市の「まちなか花壇スポンサー」に賛同し、信太山駅の空きスペースを花壇として活用。
三国ヶ丘	社会福祉協議会を通じてペットボトルキャップを寄贈し、「SDGs」や「環境問題」に取り組む。
登 美 丘	フードドライブと高齢者の居場所作りを応援する。堺市社会福祉協議会と連携し登美丘支店独自のワクのびルームの開設。
宿 院	飲食店や生活関連業者、災害時避難場所の掲載されたロードマップを地域活性化のために製作。
松 原	松原市子育て支援課と連携した「赤ちゃん駅(授乳・おもむつ交換室)」の設置。
鳳	地域情報掲示板を店内設置し地域におけるコミュニケーション拠点の立場を確立。
泉 南	社会福祉協議会と連携したフードドライブ、AED、相続の手続きのセミナーの実施。
深 井	取引先が運営する子供食堂の開設支援。
しもまつ	中学校より相談のあった制服のリサイクルに関して、専用回収ボックスを設置して協力。
金 岡 町	ベビー用品卸売業を営む顧客と協力し地域の保育園にクリスマスプレゼントとして三輪車及びプレイマットを贈呈。
春 木	地域活性化のため支店駐車場でバザー等を行い、売上金は岸和田養護施設の基金へ寄付。
岸 和 田	岸和田市社会福祉協議会と連携しフードドライブの実施、地域包括支援センターと連携し相談会を実施。
泉 大 津	地元企業から廃材をもらい受けて子ども食堂の子供たちや介護施設の入居者の方に「はり絵」を体験してもらう。
高 石 南	事業者減少の為、高石商工会議所と連携した創業支援を実施。
和 泉	社会福祉協議会「障害者絵画教室」とだいしんビジコン「リ・チャレンジ」発表者「三幸紙創」とのコラボ展示会開催。
堺 東	商店街内の子供食堂と連携したフードドライブの実施等、地元商店街活性化による持続可能な地域づくり。
箕 面	店内キッズスペースの設置・店外遊休スペースの設置・飲食店取引先の魅力をチラシ作成しアピールする。

これらの取り組みについて金庫内で成果発表会を行い、優れたものを表彰するとともに内容を共有し、より一層みなさまに喜ばれる取り組みへ継続して改善を図っていきます。各店が創意工夫をこらした「自主創造」の取り組みが、地域課題の解決の一助となることを目指します。